



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN  
WEEKLY REPORT

設立 昭和63年(1988)5月23日  
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階  
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010  
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp  
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111  
会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1443回 例会 2022年(令和4年)2月7日

(平和構築と紛争予防月間)

本日のプログラム (本日のプログレス 中井 崇 副SAA)  
○ ロ-タリ-ソング 「君が代」「四つのテスト」  
○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告  
○ 2月お誕生月会員お祝い  
○ 卓話 「ロータリー入門書を読んで」 沖 真一郎 会員  
○ 理事会 31階「カトレア」13:40~14:40

前回(1月24日)例会記録

◇プログレス 中井 崇 副SAA

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪  
♪ ・ゆき ♪  
♪ ・スキー ♪  
♪ ・冬げしき ♪  
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

1. 来客紹介 天野 大樹 親睦委員  
ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:2名 合計:2名

2. 会長の時間 宮原 彰 会長



ご承知の通り最近ではコロナ感染者が、オミクロン株の拡大も加わりまして、日本中が対策に追われています。

大阪でも連日多くの感染者が発生しており、なんとか日常の経済活動や文化活動に支障の生じないことを願っているところです。年末から新年にかけては全国的に感染者が少なくなり、いいなと思いかけた頃に、急激な速さで感染者が拡がりました。

今年の初詣の写真を見ますと、まだ人が多くてお正月らしくいいな、と思いかけたところでした。

ところで、お正月の良さと言いますか、お正月、新年1月の意義は一年が終わって新しい年を迎えることにあると思います。仮に前の年があまり良くなかったとすれば、新年でがらりと一新する。

新しい自分になって新たな一步を踏み出せるところが、新年の良さだろーと思ひます。

皆さんも、お正月の元旦に、今年の日標、今年の日誓ひとして、掲げておられると思ひます。

問題はお正月に決めたこと、決心されたことが今、1月の20日を過ぎた段階で続いているかどうか、続いていれば素晴らしいです。この一年いけると思ひます。

私も昔を思ひ出しますが、1週間か10日を過ぎたあたりから一つ消え二つ消えて行つたこともしばしばありました。

今日は1枚の色紙をコピーで持てて来たのですが、書道家で杭迫柏樹(くいせこはくじゅ)さんと言ひまして、日本の書道家を代表する一人だと思ひていますが、昭和9年のお生まれですから確か米寿だと思ひますので、公職からは引退されていますが、日展名誉・特別会員として日展の審査委員を選考して来られた書道家です。叙勲も受けておられます。

ご自分の書を人に聞かれて表現するとすれば「打てば快音を発し、切れれば水の滴る書」と表現しておられます。その杭迫柏樹さんが書いてくださったのが、この文書です。

1月のこの時期にタイムリーな書だと思ひ、もてて参りました。5項目あります。

年頭自警とありますから、自分に心掛けることを示すと言つたような意味かと思ひますが。

一つ、年頭まず自ら意気を新たにすべし。

年頭に自分のこの一年への思ひ、決意を新たにしましょう。と言つたところでしょうか。

一つ、年頭古き悔恨を棄つべし。

あれも出来なかつた、これも出来ていないと悔やむことを捨てましょう。

一つ、年頭決然滞事を一掃すべし。

思えば途中でやめたままになっているのが何件もある。

捨てるのは勿体ないと思われる時には、決然と意を決して一掃すべしと書かれています。

一つ、年頭新たに一善事を発願すべし。

大きいことでなくてもいいと思ひます。小さなことでも、何よりも続けられることではないでしょうか。

密かに決めて実行出来るようなことで、ありがとうを、ありがとうらしく心をこめて、1日10回言う、なども有ると思ひます。

一つ、年頭新たに一佳書を読み始めべし。

お家にお帰りになつて本棚をみてください、読みさしだったり、まだ手に取つたことのない本が並んでいるかもしれません。申しましたようにお正月、新年1月の良さは思ひを新たにすることです。

新年に決意されたことを実行出来たらさらに素晴らしいと思ひます。

新年一月の20日を過ぎまして、失礼ながら華々しく決心した思ひが揺らぎ始める頃かと思つたものですから杭迫柏樹さんの書をお借りしてお話させていただきました。要らぬおせっかいでないことを祈つております。ありがとうございました。

### 3. 次年度地区委員委嘱状授与



地区より委嘱状が届きましたので、宮原会長より授与されました。

【2022-2023年度】

小山 章松 IM第5組 ガバナー補佐

澤田 宗久 国際・社会奉仕委員

原山 歩 米山奨学委員

## 4. 委員会報告

◎ 国際奉仕委員会 吉本 力 委員長

八尾ロータリークラブ様とのフィリピンへの共同奉仕活動の件ですが、1月12(水)に現地NPO法人の三浦様とWEB会議を行い、現地の台風による被害状況等をヒアリングいたしました。支援地域となる島は、家屋の多くが倒壊し、水や食料も不足しているという深刻な状況でした。この状況を踏まえ、1月28日(金)に八尾ロータリークラブ様とWEB会議を行い、早急に災害支援を行うことができるよう準備いたします。引き続きご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

## 5. ニコニコ報告 岡本 真太郎 親睦委員

大阪心齋橋 RC 佐伯良一様…本日もよろしく！

山川 会員…本日の職業奉仕フォーラム宜しくお願ひします。

小山 会員…大腸ポリープ手術2泊3日で退院できました。

大磯、天野、中井、井澤、新川、竹内、中嶋、原山、宮原、片岡、岡本(真)、林、中村、野田、坂本、大嶋、岡本(茂)、岡野、俣野、岩崎、篠藤、甚田、吉本、

各会員…感染急拡大 対策の更なる実行を

## 6. 出席報告 中井 崇 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 32名(内 ZOOM3名参加) 出席率 84%

第1440回(12月20日) 修正出席率 97%

## 7. クラブフォーラム 「職業奉仕委員会」 山川 良知 委員長



### 1 はじめに

本日の職業奉仕フォーラムは、二つのパートに分け、前半は私から職業奉仕についてお話をさせて頂き、後半は皆さんに前半の私からの説明を受けて議論・意見交換をして頂きたいと考えています。前半の説明は、ロータリークラブの設立からの経緯を説明しますので、ベテランの会員には既にご存知の内容だと思います。しかし、地区職業奉仕委員会の活動方針の一つに各クラブにおいて職業奉仕に対する理解を深め活動に繋げることが挙げられており、ベテランの会員に改めて確認頂くことに意義がありますし、ここ数年内に入会された多数の経

歴の浅い会員の中には、初めて聞く内容だという方もおられると思い、敢えて歴史から説明させて頂くことにしました。

私は2018年に入会しましたが、最初に職業奉仕という言葉聞いたとき、何となく違和感を覚えました。社会奉仕は社会に対する奉仕、国際社会は国際社会に対する奉仕、青少年奉仕は青少年に対する奉仕というように、その字句からしてイメージできるのですが、職業奉仕は「職業に対する奉仕」というのはおかしいので、イメージできませんでした。

「ロータリーの友」67号に福岡西RCの廣畑富雄氏が寄稿されていますが、その中に、弁護士が無料の法律相談をやることや、医師が無医村で無料の診療をすることは、職業奉仕ではなく社会奉仕だと書かれていました。私は、自らの職業をもって奉仕するのに、職業奉仕ではないという点が良く理解できませんでした。他方、トヨタ等の自動車会社の職業奉仕は、良い車を、運転しやすい、安全な、ユーザーのためになる車を、また環境にやさしい車を、適正な価格で販売することであり、福祉車両や救急車等を寄贈するのは社会奉仕であると書かれていました。こちらのくだりは何となく理解できましたが、何となくモヤモヤ感が残りましたので、きちんと理解するには、やはり職業奉仕の歴史についての正確な理解が必要だと思いました。

## 2 職業奉仕の歴史について

職業奉仕の歴史は、ロータリークラブの歴史と重なる部分が多いです。重要項目と人物を中心に、①創立期の5年、②展開期の10年、③やや混乱した成長期の15年、④四つのテストの誕生以降の約20年間、⑤ここ約30年の近年に分けて説明します。

### (1) 創立期(親睦～奉仕)

ご存じの通り、ロータリークラブは、1905年、シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイデアをもとにして、3人の友人と発足させたと言われています。当初、会員を一業種一人に制限し、これがロータリーの職業分類制度の始まりと言われています。

この職業分類制度によって、会員は2つの責務を負うことになります。一つは「クラブに対しては自己の職業の代表者という責務」、そして、もう一つは「ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務」です。この二つの責務が職業奉仕の基礎となっています。

ところで、創立時は「親睦」団体だったのですが、やがて「奉仕」も行うクラブに変わっていきます。

そのきっかけが、1906年に入会したドナルド・カーターです。ポール・ハリスから入会の勧誘を受けたカーターは、地域社会への恩返しを全く考慮せず自分達だけが助け合っただけで栄えようとするだけの方針を手厳しく批判し、当初は入会を断りました。これを痛切に反省したポール・ハリスが中心となりクラブ定款が改正され、シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広めることが目的に加えられ、「親睦」と「奉仕」が融合したクラブとなりました。

### (2) 展開期 ロータリーの二大標語

ロータリーの発足後しばらくして、ロータリーの目的や存在理由について疑問を持つ人が出始めました。そして、ロータリーの新しい理想を考え、それを明確にするために委員会が設置されました。そこで委員長に任命されたのが、アーサー・フレデリック・シェルドンです。彼は、親睦派の巻き返しにより委員長の任は追われますが、悪徳と信用不安が横行し、消費者は自分で自分を守るしかなかった当時にあっても、公明正大に経営している商店や会社が大成している事実に着目し、その理由を探求し、「職業は社会に奉仕する手段である。」と他のロータリアンを納得させることができました。

1910年、最初の実米ロータリー大会がシカゴで開かれ、全米ロータリー連合会が結成されましたが、この大会の閉会時に、シェルドンは次のように語っています。

「19世紀の商習慣の特徴は競争です。出し抜かれる前に出し抜け、ということです。20世紀に入り、人類は賢くなりました。20世紀の特徴は協調です。『人間は、英知の光に照らして、正しい行為は報われる。職業は人類の奉仕の科学である。最もよく仲間に奉仕する者、最も多く報いられる』(He profits most who serves his fellows best)ということがわかるようになりました」

次に、有名なのがベンジャミン・フランクリン・コリンズです。彼は、ミネアポリスロータリークラブの会長でしたが、この大会の最終日に、自分のクラブで採用し、厳守してきた原則は「Service not Self(無私の奉仕)」であり、これによってクラブを組織し、新しい会員にもこの精神を学ばせるのがよいと述べました。

この標語も参加者の賛同を得ました。もともと、その後、人は皆自己を尊ぶこと、そして自己を守ることが必要である。それならば自己を否定する not よりも自己を第二に置く aboveの方がよいのではないかと！ということで、「Service above Self(超私の奉仕)」に修正されました。

### (3) 展開期-2 奉仕の理想

ロータリーの目的は、全米ロータリー連合会が、1912年に決めました。これはその後、時代と共に変更が繰り返され現在に至っています。その対象は、自らの事業のみならず社会生活にわたっています。ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することである」として第1項から第4項ま

で定められています。時間の関係上、割愛しますが、「ロータリーの友」の毎号に掲載されていますので、またご覧ください。次に、ロータリーの倫理訓について説明します。

シェルドンらの努力によって、ロータリー活動の基本は自分の職業を通しての奉仕であるというロータリーの根本原理が定着しました。職業奉仕は、ロータリアン一人一人が例会に出席して、他の会員との交流・親睦を通してモラルを高め、日常生活では自分の職業に真剣に取り組み、社員はもとより仕入先や顧客など周囲の人達のモラルを向上させて、業界の手本となり、その業界のモラルを向上させていくことです。

この職業奉仕の基本理念は1915年のサンフランシスコ大会でロータリーの倫理訓(道徳律)という形で表現されることとなりました。ただ、宗教色が強い部分があったことや、その内容の厳しさもあり、1951年にロータリーのあらゆる文書から姿を消すことになりました。

このようにして、ロータリーの倫理訓(道徳律)は姿を消すことになったのですが、その内容は職業奉仕の根本原理を表すものとしてその復活を望む声も多く、1989年、RI理事会はロータリーの倫理訓に代わるものとして、職業宣言を採択しました。

#### (4) 成長期 理念派 VS 実践派

ロータリー活動の基本はロータリアンが毎週の例会に出席して、ロータリーの哲学である奉仕の心を学び、それを通して親睦を深め、さらに奉仕の心を深め、充実させていくところにあります。例会出席によって形成された奉仕の心はロータリアン個人がそれぞれの家庭、地域社会、国際社会で実践に移すこととなります。

しかし、1910年代に入って、クラブとしての実践を伴わないロータリーの理念に飽き足らず、クラブとしての金銭的奉仕や身体的奉仕の実践をも積極的にするべきであるという動きが顕著になってきました。

実践派の先頭に立ったのは、身体障害児の保護、教育に貢献してきたエドガー・アレンでした。1922年のロサンゼルス大会に身体障害児救済事業に関する決議案を共同提案として提出しました。

理事会はこれを受けて、この事業を奨励する決議22-17を採択しました。これにより実践派の動きはますます活発になりましたが、「ロータリー創立の理念を守るべき」というシェルドンを中心とする理念派との対立が深まり、ロータリーは分裂の危機に瀕しました。

#### (5) 成長期-2 決議23-34

しかし、この対立も1923年のセントルイス国際大会で、決議23-34が採択され、終止符が打たれました。

決議23-34は、ロータリーの綱領に基づくすべての活動の指針であると同時に、ロータリーの奉仕理念を表す唯一の文書であります。この決議で重要なのは、第4条でロータリアン個人にも、ロータリークラブにも、奉仕の理念に基づく実践が求められていることを述べたうえで、第6条g項に、ロータリーの奉仕活動の実践は個人奉仕が原則であって、クラブが行う奉仕活動は会員の訓練のための例示に過ぎないことを明記し、奉仕の実践は、個人奉仕か団体奉仕かという論争に終止符を打ったことです。

#### (6) 四つのテスト

ロータリーの四大奉仕、すなわち、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の考え方は1927年ベルギーのオステンドで開かれた国際大会で決められたものです。それまでロータリークラブの基本理念として「一般奉仕概念」と呼ばれていたものに、「Vocational Service(職業奉仕)」という呼び名が正式に与えられました。

ところで、ロータリーの哲学を端的に表現し、職業奉仕の理念の実行に役立つものとして、「四つのテスト」があります。これは、ハーバート・J・テーラーが1932年の世界大恐慌時に考えたもので、商取引の公正さを測る尺度として活用されてきました。彼は、破産の危機に瀕していた「クラブ・アルミニウム製品株式会社」の再建を任されましたが、その時、育成の指針として会社の従業員が使えるような倫理上の尺度として作られたのが、「四つのテスト」です。そして、その後、1954年に「四つのテスト」の著作権はRIに寄贈されました。

## (7) 直近30年 ロータリーの樹

先ほどご説明した「ロータリアンの職業宣言」が採択されたのと同じ1989年に「職業奉仕に関する声明」も決議されています。この声明は、個人奉仕を主とする従来の「職業奉仕」の理念を基礎とするものであることが分かります。ただ、「会員個人が行う職業奉仕に加え、クラブも職業奉仕活動を行わなければならない」と規定したと解釈できないこともなく、個人奉仕か団体奉仕かという点について、若干の混乱を招いたことも事実であるという意見もあります。

「ロータリアンの樹」はロータリアンの理念や活動を分かりやすく理解できるものです。これは、2008年RI国際協議会の全体会議において、渡辺好政RI理事が「ロータリアンの樹・2008」と銘打ってロータリアンを「一本の樹」に例えて、ロータリアンの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いながら、「ロータリアンにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された2013年RI規定審議会の審議を経て採択されたものです。その講演内容を朗読いたします。

「1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに親睦、助け合いから始まりました。

すなわち、ロータリアンの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリークラブ会員はロータリアンの目的を基本としてハーバート、テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって「ロータリアン」に進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には、コリンズの「超我の奉仕」、アーサー・シェルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」が存在いたします。

私たちはこの2つのモットーを一枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理想の高唱」に終わるのではなく「行動の哲学」なのであります。」

## (8) 直近「職業奉仕」はロータリアンの根幹？

2016年の規定審議会で、「奉仕の第二部門を改正する件」が採択されました。具体的には、「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」という文言が追加されました。これにより、職業奉仕部門には、奉仕の理念を研究する「内なる人づくり」と対外的な奉仕活動の「外なる人づくり」という2つの要素があると言われております。

この決議の採択によって、職業奉仕は、ロータリアンの根幹なのかという議論が交わされることが多くなりました。審議会決定の内容をそのまま読むと、職業奉仕は、根幹ではなく奉仕活動の一つにすぎないという解釈も有り得るという意見もあります。

## (9) 結びに

今まで述べたとおり、職業奉仕の歴史はロータリアンの歴史と重なる部分が多く、偉大な先達らによって知恵と工夫が重ねられてきた結果、現在の形や考え方に至っております。職業奉仕とは何か？職業奉仕とはどうあるべきか？を議論し検討することが重要であることは論を待たないと思います。しかし、個人的意見を申し上げますと、今から何をなすべきかを考えるときに重要なのは、職業奉仕とは何なのかとか、それが職業奉仕なのか社会奉仕なのか等を論じることよりも、個々人が、奉仕の精神をもって、世のため人のためになることを心掛け、これを実践するということであり、その活動が職業奉仕であっても社会奉仕であってもどちらでも良いのではないかと考えています。

この点にご異論もあるところなどは存じますが、各メンバーそれぞれが「職業奉仕」について今一度考えて頂き、これからのロータリアンとしての活動やクラブの活動に活かしていけたらと思います。

ご清聴ありがとうございました。

☆次回2月14日(月)例会予定

・国際奉仕フォーラム ～14:00